令和８年１１月定例会一般質問発言通告表

発言順序	１６	議席番号	１６	氏名	望　月　芳　将　　議員	１/１

発言項目	要旨	答弁者
１　第20回富士宮市高校生議会を通じて、高校生議員の主張が将来のまちづくりにどのようにつながっていくのか～若者から選んで住んでもらえるまちへ～	第20回富士宮市高校生議会では富士宮市の特産や産業、農業、スポーツ、芸術、地域の担い手不足、交通の問題、こどもの「居場所」に至るまで幅広い分野で質問が出された。特に私は、高校生ならではの自転車や電車やバスを利用した通学の問題やこどもの居場所の問題に強く共感した。これらの主張を振り返り、以下質問する。 (1)　高校生議会の目的や意義について伺う。 (2)　今回の質問を通して考える通学や交通手段の在り方について。 ①　交通不便地域における市営スクールバス運行について、通学における困りごとなどの実態調査を行うことはしないのか。また、現状を見直す考えはないのか伺う。 ②　ＪＲ源道寺駅の施設改善を求める再質問があったが、雨風をしのげるスペースや、高齢者の利用を想定したバリアフリー化等の改善について、事業者に対する要望だけではなく、市としてどのように考えていくのか伺う。 ③　バス停に屋根を設置することについて、規制や事業主体の問題はあるが、全てのバス停ではなく拠点バス停から設置を進めたり、将来のまちづくりとして交通切り替えのステーション機能を備えたバス停の設置などを計画できないか伺う。 (3)　こどもの居場所について発言した高校生議員の質問の背景として、孤独や不安を感じるこどもがいることや、学童保育にもこども自身に選択肢がないことが挙げられ、地域の中でこどもが安心して過ごせて、自分だけで行ける場所が欲しいとの訴えがあった。これについて市はどのように受け止め、対応を考えるのか伺う。	市　長 副市長 教育長 関係部長
２　高齢者つながり・生きがい創出事業の現状と今後について	(1)　高齢者団体等親睦会費補助金は、６月に予算が枯渇し、補正予算が組まれ９月より再開されたが現状について伺う。 (2)　来年度に向けての取組について伺う。	市　長 副市長 教育長 関係部長